

教育協力病院連絡協議会（報告）

日時：平成 28 年 12 月 16 日（金）13:00 から
場所：信州大学医学部附属病院 外来棟 4 階大会議室
対象：教育協力病院連絡協議会参加病院
議題：4 月から始まる医学部学生の臨床実習について
その他



県内外 38 の教育協力病院にご参集いただいた。
会議に先立ち、多田医学教育研修センターが、11 月に医学教育研修センターが発足した件について挨拶を行った。

森医学教育部門長より、以下の説明とお願いが行われた。

- ・ 新しい実習先に、学生がどのような実習を行ってきたかが簡略に理解できるチェックシートのような形式のものを持参させる予定である。
- ・ 4 月から実習にうかがう学生は自分で実習先を選択しているため、150 通りで実習にうかがった学生よりモチベーションを高くして実習に臨むと思われる。
- ・ 平成 29 年度の 150 通りコースについては、1 月にコース案を送付し 4 月初旬に最終案を完成させる予定である。
- ・ 平成 29 年度の 150 通りのコースは、若干、専門診療科を増やす予定である。
- ・ 可能であれば、学生と研修医と会話ができる機会や、インターネット利用が可能な環境を与えていただけると、学生が孤立したり孤独になることなく実習期間を過ごすことができる。ご無理のない範囲でご対応をお願いしたい。

教育協力病院より以下の要望意見が出された。（→）内は医学教育研修センターからの回答。

- ・ 学生の意見感想をフィードバックしてほしい。（→学生からは毎クール後に感想を集めている。次回 3 月の会議で配布し、フィードバックしたいと考えている。）
- ・ 学生から交通費援助に関する要望が出ているが、援助はできるのか。（→家計基準を用いた丹羽一成氏の奨学金制度を導入し、援助の一助とした。）

教育協力病院協議会終了後、引き続き、卒後臨床研修管理委員会が行われた。

以上